

iBox Small Animal Imaging System

in vivoイメージャー


 と
 

 のコラボレーション

本システムはユーザーの設定した条件で簡単に
 小動物の In vivo 検出を行うことができる機械です。
 適切な光学系と高感度冷却CCDカメラにより画像を撮影することが出来ます。
 蛍光タンパクによる In vivo のアプリケーションにおいて
 先進的な実績をもつ AntiCancer Inc との
 協力関係をもとにUVP社が本システムを提供いたします。

アプリケーション

小動物のin vivoイメージング

- 腫瘍の研究
- がん研究
- 心臓病
- ジーンセラピー
- 長時間露光による微弱シグナル検出



特徴

- 高感度高解像度CCD
- モーター制御の絞り、ズーム、フォーカス
- テンプレートによる撮影条件の保存
- 遮光性の高いキャビネットによりよい撮影条件が得られます。
- サンプル観察用のUVシールド搭載窓
- キャビネット内蔵落射白色灯、およびUV灯（PC制御）。
- 5種類のエミッションフィルターはソフト制御で換えることが出来ます。
- 白色イルミネーターは簡単にセットして使うことが出来ます。
- 引き出し式UVトランスイルミネーター台により簡単にUVイルミネーターにアクセスすることが出来ます。
- VisionWorksLS ソフトウェアを搭載します。



BioLite MultiSpectral Source

- フィルターホイールの位置と光源の強さを電動制御。
- ダークルームまで光ファイバーケーブルを使って落射光を伝えます。
- GFP用の励起フィルターとエミッションフィルターのセットが付属しています。
他の波長領域のフィルターも入手可能です。
- サンプルの大きさに応じてトレイを上下に移動させることが出来ます。



Camera / Lens

BioChemi HR、OptiChemi HR のうちから選ぶことができます。

BioChemi HR の視野はサンプルトレイが一番下段のときに16×16cmで一番上段に上げたときに8×8cmです。

Software Interface

- ダークルーム内部光源、トランスイルミネーター、エミッションフィルターの選択をソフトウェアで行うことができます。
- ユーザー定義設定、デフォルト設定をすばやく切り替えて使うことができます。

VisionWorksLS 画像撮影ソフト、解析ソフト

- シンプルな画像撮影から自動露光割り当て撮影までこなすことができます。
- 撮影後にコントラスト調整等でシグナルを強めに表示することも出来ます。
- 1D解析ツールによる分子量解析、デンストメトリー、エリアデンシティーによる面積測定、シグナル測定を行うことができます。
- Part11対応（詳細はお問い合わせください）
- ユーザープリファレンスの作成
- 画像データ（ヒストリー等）のレポート出力機能



スペック

カメラスペック

型番	iBox-BioChemiHR
カメラ	BioChemiHR
解像度	2048×2048
階調	14bit
冷却能力	マイナス28℃
ビニング	1×1~8×8
PCインターフェイス	USB2.0
レンズ	モーター制御レンズ

エミッションフィルター

- ・ SYBR Green 515 — 570 nm
- ・ SYBR Gold 485 — 655nm
- ・ EtBr Red 570 — 640nm
- ・ Clear
- ・ Open

Software

- ・ 自動操作用インターフェイス
- ・ VisionWorksLS画像撮影解析ソフト

Darkroom

- ・ 遮光性
- ・ UVシールド窓つきドア
- ・ トランスイルミネーター用引き出し式トレイ
- ・ 白色、UV（365、480nm）落射光源
- ・ 白色トランスイルミネーター

BioLite MultiSpectral Source

- ・ ダークルーム外電源供給装置
- ・ 150ワット光源
- ・ 光ファイバーケーブル
- ・ 8個の励起フィルターポジション
- ・ マニュアルまたはソフトウェアによるコントロール

オプション

- ・ 麻酔ユニット
- ・ カスタムフィルターセット
- ・ サーマルプリンター
- ・ 保温トレイ